

Fibre Channel 関連

Fibre Channel 関連

1.概要

型名	製品名	備考
N8503-25	Fibre Channel コントローラ	32bit PCI
N8590-09	Fibre Channel ディスクアレイ装置	ディスクサイド型
N8590-10	Fibre Channel 用ハブ	
N8503-29	Fibre Channel ディスクアレイ用 デュアルポート機構	
N8502-58	Fibre Channel ディスクアレイ用 増設メモリボード	Fibre Channel ディスクアレイ装置用

2.機能仕様

■Fibre Channel コントローラ

	N8503-25
拡張スロットバス形式	PCI (32bit)
チャンネル数	1
転送速度(Gbps)	1.0625
外部インタフェース	Fibre Channel D-sub 9 ピン (Copper)
サポート機種	120Mb,120Ha,140Ma, 140Ha,180Ha

- ・実装位置に制限があるため、注意のこと

■Fibre Channel 用ハブ

	N8590-10
ポート数	9 ポート
消費電力	60VA,41W
発熱量	150KJ/H
本体形状(W×D×Hmm)	221×145×43
動作環境(温度/湿度)	温度 10℃～40℃、湿度 20%～80%
外部インタフェース	D-sub 9 ピン (Copper)

■Fibre Channel ディスクアレイ装置

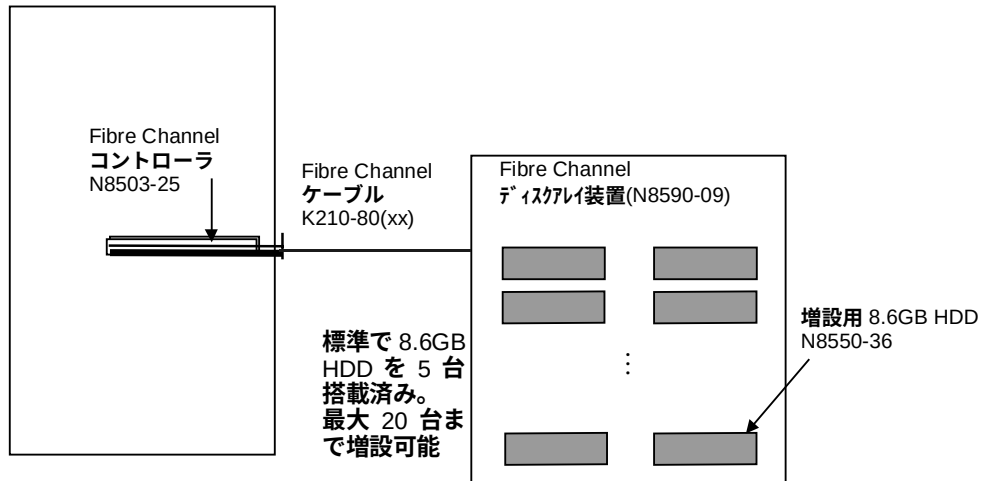
		N8590-09
容量	標準	34.8GB (8.6GB HDD×5 台)
	最大	139.2GB (8.6GB HDD×20 台)
	増設単位	N8550-36 を増設 *以下のバック構成が可能 HDD5 台(RAID5) HDD4 台(RAID5)(スペアディスクと組み合わせ可能) HDD10 台(RAID5(9 台)とスペアディスク)
最大接続台数 (最大ディスク容量) *Fibre Channel 用ハブあたり		5 台 696GB : RAID5
キャッシュ容量		128MB (標準) ~256MB (最大) *Fibre Channel ディスクアレイ用増設メモリ(N8502-58)により 256MB まで増設可能 *デュアルポート機構(N8503-29)を実装した状態で Fibre Channel ディスクアレイ装置にキャッシュメモリを増設する場合には、デュアルポート機構にも増設メモリ(N8502-58)が必要
RAID レベル		RAID5
インタフェース		Fibre Channel D-sub9 ピン (Copper)
ファンの信頼性		標準 (冗長ファンを搭載済み)
電源の信頼性		標準 (冗長電源を搭載済み)
本体形状(W×D×Hmm)		523×733×681
消費電力		1400VA,1380W
発熱量		4968KJ/H
動作環境 (温度/湿度)		温度 10℃~40℃、湿度 20%~80%
対応 OS		WindowsNT 4.0(ServicePack3)

注：増設用 8.6GB HDD(N8550-36)の実容量は 8.7GB

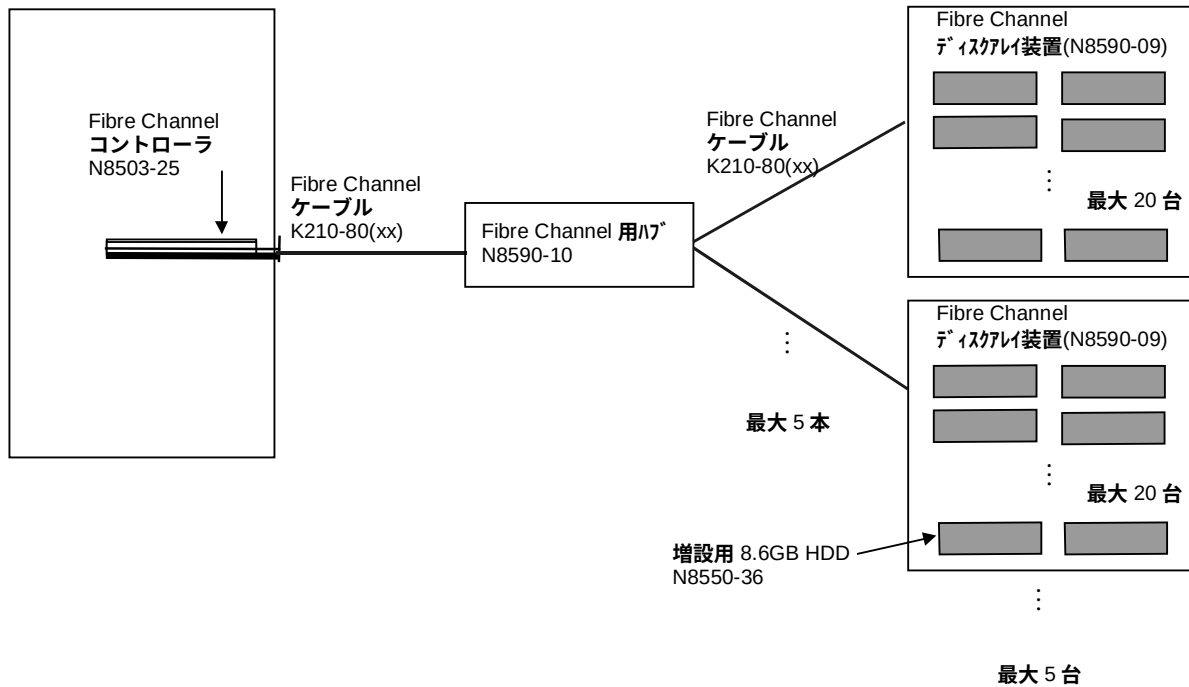
- 標準で 8.6GB×5 台の HDD を搭載済み
- 最大 15 台の増設用 8.6GB HDD(N8550-36)を増設可能 (合計 20 台)
- 本装置に OS をインストールして立ち上げることは不可
- スペアディスクとして増設用 8.6GB HDD(N8550-36)を増設する場合の実装位置は、HDD スロットの ID9 及び 19 のみ
- Write Cache を使うためにはデュアルポート機構(N8503-29)を増設し、加えて 4 台の増設ディスク装置(N8550-36)を ID5~ID8 に実装する必要がある

3.接続図

(1)標準構成

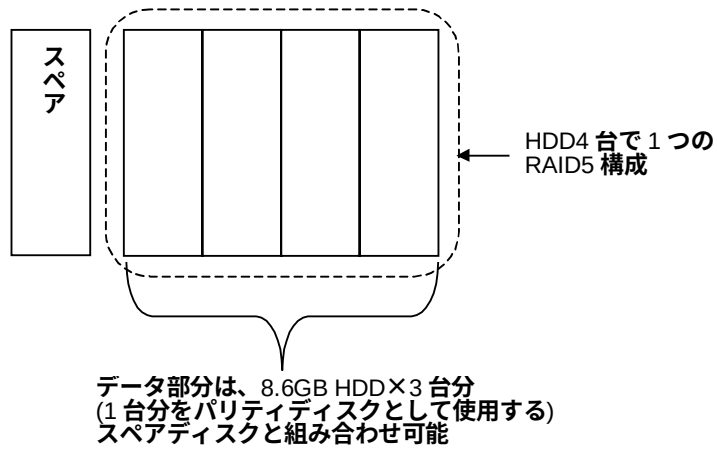


(2)最大構成

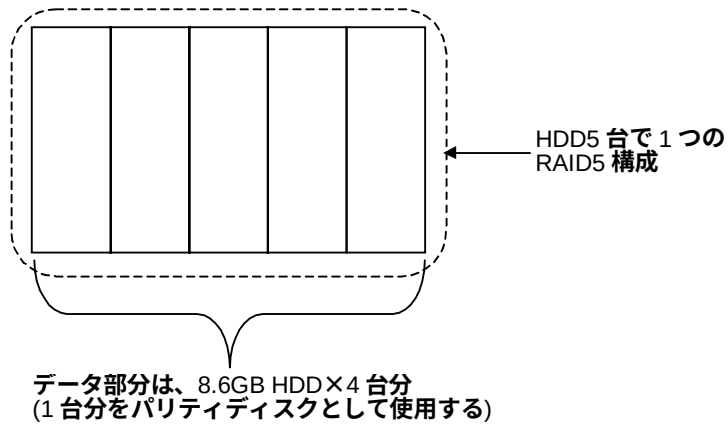


4.Fibre Channel ディスクアレイ装置における RAID の組み方

(1) 4 台(RAID5)の場合



(2) 5 台(RAID5)の場合



(3) 10 台 (9 台(RAID5)とスペアディスク) の場合

